



受注・配車を一元管理

バンテック 新システムで輸送効率化

バンテック（本社・横濱市、山田敏晴社長）は、配車部を一元管理することによって輸送効率化を図る戦略物流システム「V-Cubic（キュービック）」の本格運用を開始した。

これまで各事業所単位だった受注・配車情報を本社が一元的に管理・運用。配車人員、事務士数や運行台数の削減など、効率的な輸送実現とタイムリーで詳細な損益管理を図る。

システム稼働に先立ち、四月の組織変更で新

部署「集中配車センター」を設置した。その後システムの実験運用を開始し本格稼働。このほどオペレーションルームII写真IIを本社内に開設。

ルームは七十平方メートルで、オペレーターは十二人。ルーム中央部には大型マルチスクリーンを備え、配車・運行状況などの情報に加え、道路や天候状況などの外部情報を表示する。

また十二月からは、システムの集計データを基に損益データを経営に反映させる方針。

同社は「自動車部品物流の受注・配車システムからスタートしたV-Cubicを今後は飲料などフォントの輸送分野へ拡大する。グループ企業へも展開し、さらなるコスト削減と高い輸送効率による環境負荷低減を目指す」としている。